

## 高校2年生・現代社会（担当 大和田）

みなさん、こんにちは。

今回の課題も前回に引き続き、休校明けの授業の予習となります。

教科書 p. 14～p. 19 を参考にしてプリントの穴埋めを完成させ（プリントアウトができない場合は、他の紙に答えを記入して）次の登校日に提出してください。

元気に再会できるのを楽しみにしています！

### 高校2年生 現代社会 課題

#### テーマ2●資源・エネルギー問題

教科書 p. 14～19

##### ■ 資源・エネルギー問題

①熱源や動力になる石炭や石油といった<sup>1</sup> \_\_\_\_\_ を、<sup>2</sup> \_\_\_\_\_ 資源という。

②<sup>1</sup> \_\_\_\_\_ や鉱物資源は、埋蔵量に限りのある<sup>3</sup> \_\_\_\_\_ 性資源であり、産出地域にかかることがある（資源の<sup>4</sup> \_\_\_\_\_ 性）。半導体の材料となるレアメタルや<sup>5</sup> \_\_\_\_\_ などの稀少金属も偏在している。

→ 價格や<sup>6</sup> \_\_\_\_\_ が不安定になることがある。

③日本は、資源・エネルギーへの<sup>7</sup> \_\_\_\_\_ 依存度が高く安定的な供給体制が必要。

##### ■ エネルギー利用とその変化

①産業革命とともに生産力の拡大は<sup>8</sup> \_\_\_\_\_ がになったが、1960年代には<sup>9</sup> \_\_\_\_\_ が<sup>2</sup> \_\_\_\_\_ 資源の中心となった（<sup>10</sup> \_\_\_\_\_ ）。

②1970年代に起こった<sup>11</sup> \_\_\_\_\_ 後、<sup>12</sup> \_\_\_\_\_ や原子力など石油代替エネルギーの導入、<sup>13</sup> \_\_\_\_\_ 対策の推進、<sup>14</sup> \_\_\_\_\_ エネルギーの技術開発などが進んだ。

③<sup>1</sup> \_\_\_\_\_ の使用は地球温暖化の原因の一つとされ、持続可能な経済発展のため、<sup>15</sup> \_\_\_\_\_ 社会の実現が課題となっている。

### ■ 原子力発電の動向と課題

- ①原子力発電は、エネルギーを安定的に供給でき、<sup>16</sup> \_\_\_\_\_ を排出しない反面、有害な<sup>17</sup> \_\_\_\_\_ を発生させ、安全性が問題になる。  
<sup>18</sup> \_\_\_\_\_ の管理・処分も課題となる。
- ②日本は、プルトニウムを燃料とする<sup>19</sup> \_\_\_\_\_ を基本政策とし、高速増殖炉や<sup>20</sup> \_\_\_\_\_ の導入を推進したが事故も発生してきた。
- ③2011年の<sup>21</sup> \_\_\_\_\_ にともない、<sup>22</sup> \_\_\_\_\_ 原子力発電所で「深刻な事故」が発生した。→いったんはすべての原子力発電所が発電を停止したが、安全性の基準を満たしたもの再稼働する動きもある。

### ■ 再生可能エネルギーの普及に向けて

- ①<sup>23</sup> \_\_\_\_\_, 太陽熱,<sup>24</sup> \_\_\_\_\_, 波力, 地熱, 潮力,<sup>25</sup> \_\_\_\_\_ など、資源確保の問題がなく、発電時に二酸化炭素を排出しない<sup>14</sup> \_\_\_\_\_ エネルギーの開発と導入が進んでいる。
- ②日本での普及には、経済性や供給の安定性に課題がある。<sup>14</sup> \_\_\_\_\_ エネルギーの<sup>26</sup> \_\_\_\_\_ 制度が導入されているが、検討すべきことが多い。

### ■ 脱炭素社会の実現のために

- ①ヨーロッパ諸国の一部や日本では<sup>27</sup> \_\_\_\_\_ の導入などの措置をとっている。
- ②発電とともに蒸気や熱などを同時利用する<sup>28</sup> \_\_\_\_\_ (熱電併給) が注目され、電気自動車や低公害車、<sup>29</sup> \_\_\_\_\_, 蓄電池などの開発が行われている。
- ③さまざまな技術と<sup>14</sup> \_\_\_\_\_ エネルギーを組み合わせ、情報通信技術で効率的に運用する省エネ型の都市 (<sup>30</sup> \_\_\_\_\_) の開発が進んでいる。

## 高校2年3組 日本史B 課題

こんにちは。元気にしていますか？だいぶ日本史用語集の使い方になれてきたでしょうか。今週は、教科書の394ページ～396ページの高度経済成長を読んで、わからない用語を日本史用語集で調べ、ノートに書きだしてください。

## 高2 世界史B 休校中の課題⑤

先週の問題は解けましたか？ぜひ全問解答＆正解をめざしてくださいね。

※休校明けのテストのお知らせ（ちょっと変更）

休校期間中に学習する内容のうち、今回と次回の範囲について、休校明けに試験をします。3回目までの範囲については前回練習問題を解きましたので、試験範囲には含めません。

試験といっても、テキストやノートを見ながらするテストです。ですから、細かな言葉のひとつひとつを暗記する必要はありません。私にとっては、みなさんが学習内容をどのくらい理解しているか知るための試験、みなさんにとって学習内容をもう一度整理するための試験にしたいと思っています。

さて、今週の宿題ですよ～。今回と次回で古代ローマを扱います！

① 教科書 p.40～p.44 を読んで、「各国別世界史ノート」の p.15～p.17 の内容を学習してください。

答えを見て空欄を埋めてから教科書を読むというやり方でも、教科書を読んで自力で空欄を埋めてから答え合わせをするというやり方でも構いません。自分の集中力や理解度が高まる方法を選ぼう。その際には、このあとに続く「世界史Bお助けプリント」も参考にしてください。また、一般公開されている講義動画も活用してください。

### 【講義動画の紹介】

- ・「Historia Mundi」という先生のYoutube。（「youtube ムンディー」で検索すると出てきます）  
再生リスト「【大学入試完全網羅】高校世界史世界史 20 話プロジェクト」の、014～016 が今週の内容です。
- ・栄光ゼミナールの講義動画（「栄光ゼミナール 講義動画」で検索）  
高校生用ページの一番下に世界史があります。

第3講 1 共和政ローマの発展(1)～(2)後半 ) が今週の内容です。

②次の問題の答えを、ルーズリーフ等（レポート用紙、コピー用紙なども可。ノートなど冊子状のものは不可）に記入して、休校明け最初の授業で提出してください。毎週一問ずつ、文章で答える問題を出します

問題「ローマがイタリア半島諸都市に対して行った分割統治について、その内容や目的を説明してから、この政策に対するあなたの意見を述べてください。自分の意見を述べるときは、現代におきかえて考へても構いません。」（字数の指定・制限は特にありません）

質問は、杉田まで！電話でお問い合わせください。

# 世界史B お助けナート④

今回と次回で古代ローマについて学びます！  
 今回は「ローマ」が都市国家から、地中海を支配するほどの大国に成長するところまで、みたいきます。  
 前6世紀、ローマをつくったラテン人が、先住のエトルリア人の王を追い出し、共和政をはじめます。  
 ただし、政治に参加できたりは貴族（パトリキ）がいました。（アテネの最初と同じですね!!）政治で一番力をもつていたのが、コンスルです。2人います。統治大臣が2人いる感じですね。で、法律をつくるのが元老院です。Xマークは、コンスルのOBばかりです。いいえ、ですね。iii)の独裁官は、戦争など非常事態のときに任命されます。ひとりが全部を決められます。名前の通りですね。

さて、アテネと同じように、ローマでも、丁寧な平民（フレグス）が「政治に平民も参加させよ！」と言うようになりました。重装歩兵（アーミー）として、ローマを守り、領土を広げる軍隊としているからです。ということで、I)～IV)の順に、すこしずつ平民の政治に参加されるました。実はII)の前に、なかなか争点をみていたい貴族は、イライラさせて平民（兵士）が、山に逃げて、という事件が起きています。「俺たちに戦わせないで!! いいのか!!」といふこと、ストライキですね。認められてよかったです!!!

I)～IV)のうさぎと同じ時期に、ローマはイタリア半島各地を征服。前3C前半に、イタリア半島をまるごと手に入れてしまいました。ただし、手に入れればあります。ただし、手に入れただけでは、そこには別の民族がたくさん住んでいます。どう、反乱しか起きてしまつかもしれません。

そこで、ローマが考案したのが、(b)分割統治という方法。征服した都市を二つ、パートにわけて、待遇に差をつけたのです。植民市が良い待遇で、不思議に思えるかもしれません。「植民市ってことは、ローマ人がそこに住むってことなんですね。だから、良い扱いにしてます。で、実際、植民市同士、自治市同士、同盟市同士でも、ビヨン～に差があります。なぜなら、他の町がローマへの不満をもらしても、「お前はいいじゃないか！ 俺たちはいい！」と他の町が喜んで団結してしまって、ともども、「おもにヨーロッパ」と思って不満をやめるとか、そんな結果を狙つていました。

## check

答えてね～！

(checkの答え)

(5) 分割統治

- ① フレグス ② コンスル ③ 認護民官 ④ ホルテンシウス法

古代ローマ史 15

## 4 古代ローマ史

### 1 ローマ共和国の成立 教科書 40-41

#### ① ローマの建設

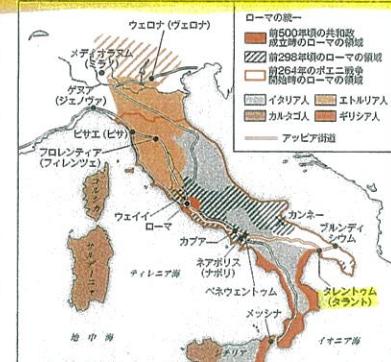
- ① 前8世紀、古代イタリア人の一派（ラテン）人がティベル河畔に都市国家ローマを建設  
 ※ロムルス・レムス兄弟の建国伝説…（クエリギリウス）作の『アエネイス』の記述  
 ⑤ 当初、ローマはイタリア半島の先住民（エトルリア）人の王が支配  
 → ラテン人は前6世紀末に（3）人の王を追放し、共和政を樹立

#### ② 平民と貴族の抗争、ローマ共和国の進展

- ⑥ ローマでは、（4）パトリキと呼ばれる貴族と、中小農民を中心とする（フレグス）と呼ばれる平民の身分差があり、政治や重要な役職を貴族が独占  
 i) （元老院）…任期終身の貴族の議員からなる立法機関  
 ii) （コスル）（執政官、統領）…任期1年で2名からなる最高官職  
 iii) （独裁官）…非常に任期半年で（7）から任命される臨時職
- ⑦ 貵族と平民の身分闘争の激化…背景に、重装歩兵として国防を担った平民の発言力の増大  
 i) 前5世紀初め、平民が政治参加を訴えて、元老院やコスルの決定に拒否権を行使できる  
 平民出身の（護民官）と、平民のみによる（平民会）が設置される  
 ii) 前5世紀半ば、ローマ最初の成文法である（十二表法）が成立し、それまでの慣習法が  
 はじめて成文化され、貴族の法的知識の独占が打破される  
 iii) 前367年、（リキニウス・セクストイウス）法が成立し、2名の執政官のうち1名は平民  
 から選出することや、一人あたりが占有可能な公有地面積の制限、負債利息の支払い規定  
 などが取り決められる  
 iv) 前287年、（ホルテンシウス）法が成立し、（10）の決議は元老院の認可なしに全ローマ人の国法となることが取り決められる

#### ③ ローマによるイタリア半島の統一

- ⑧ 身分闘争と同時に、ローマは北部のエトルリア人の都市や、南部のギリシア人の都市など、イタリア半島各地を制圧  
 → 前272年、スパルタの植民市であった半島南端の（タレンティウム）を征服し、イタリア半島の統一を完成  
 ⑨ ローマは、征服した都市を（植民市）：同盟市・自治市にわけて支配する（分割統治）を採用  
 ⑩ 統一の過程で、（アッピア）街道に代表される軍道が整備される



ローマによるイタリア半島の統一

良い ← 待遇 → 異い

- ① 古代ローマは貴族とパトリキと呼ばれています。では、平民は何か呼ばれていますか。

- ② 古代共和政ローマにおける、任期1年で2名からなる最高官職を何といいますか。

- ③ 平民から選出される、元老院やコスルの決定に「NO!!」と言える官職は何といいますか。

- ④ ある法が制定されたときに、古代ローマでは貴族と平民の法的平等が達成された。この法は何といいますか。

- ⑤ ローマがイタリア半島諸都市に対して用いた統治政策を何といいますか。

イタリア半島統一をなすいたローマは、「地中海東岸の3民族」で敗れてます!!!  
その先の地中海で、カルタゴといふフェニキア人の  
町とぶつかります。が、3回も戦争になりました。

ポエニ戦争といいます。カルタゴは、フェニキア人。  
という意味です。まず、第1回。長いですね。。。  
20年もかかるといいます。とにかく、勝負がつかないで、  
どちらも疲れてきています。負けを認めると負けにはいけない  
といつぱり負けてしまいました。最後、勝負が決ったのは、  
海上軍でした。カルタゴの舟には、荷物でたくさん  
積んでいて、重きをかにぶかた。それに逆し、ローマ  
の舟には、最も軽い荷物しか入れておらず、ちこまか  
重きをかけます。カルタゴに勝つことがでてもました。

カルタゴも荷物がおいしくれいで、良かつたのにね。。。  
でも、これには理由があります。ローマ側の兵士は  
（主）ローマの人で、自分がたのために戦っています。

でもカルタゴの兵士は、雇われてただけの異民族が  
多くて、お金のために戦っています。（だから、ローマ人は、  
荷物がいてたら盗まれるといひて思われなかつたけど、

カルタゴの兵士はそれがじで戦つたようです。私たちは、  
家は学校では荷物あくまで気にしないけど、

たゞして鳥でたとえ気を付けるもんね。

次、⑤第2回、力で回復してカルタゴの反撃です。  
カルタゴの武将ハンニバルが、アレップスを攻めて、ローマを  
背後から攻撃します。「アレップス…3000m程の山々。  
こえいいって、正氣かい!? 実戦だよ??」と思  
うんですけど；やつてのまじで…。37頭の象もいました。

しかし、ローマの軍がいかでローマ軍がカルタゴを攻めることに成功し、終局、負け。。。第3回でカルタゴが完敗で、ポエニ戦争は終了。

①農業から離れていた人たち町に流れいで、政治家のせもとになることが増えてます。彼らは選挙権をもつていて、もちろん、せもしくなる  
政治家に投票するしかなくなります。

②みんなが中立地帯を土地をお金もか買いつめ、大きな農場（ラティンティア）を経営するようになります。

③農民=兵士だったから、農民がいたなくてことは、兵士がいたくてないことは、  
今までの政治のやり方では、うまくいかないなり。すすむふえいきます。おちつねる世の中になってしまった。

## check

答えは右上へ！

### checkの答え

- ①カルタゴ ②シチリア島 ③カンヌーの軍隊 ④ラティンティア ⑤パンペニセウム

16 古代ローマ史

教P.41の22行目～P.42

### 2 ローマによる地中海征服とその影響

①ポエニ戦争（前264～前146）…イタリア半島統

一後、ローマは地中海西方を支配するフェニキア人の植民市（カルタゴ）と衝突し、3回にわたる戦争に突入

②第1回（前264～前241）…（2）シチリア島の

シラクサでの反乱をきっかけに勃発

→ローマが勝利し、（2）島は初の属州（中央派遣の総督が統治する直轄地）となる

③第2回（前218～前201）

i) 前半はカルタゴが優勢。カルタゴの將軍 ポエニ戦争

（3）ハンニバル）がヒスパニアからアルプス山脈をこえてイタリアに侵攻し、前216年の

（4）カンヌー）の戦いでローマ軍を破る。地中海を渡り、西地中海を支配してしまった。

ii) 後半には、ローマの將軍（5）スキピオ）がアフリカのカルタゴ本拠を攻撃し、前202年の

（6）ザマ）の戦いで（3）を破って、ローマが勝利

iii) 結果…カルタゴは海外領土をすべて失い、ローマがヒスパニアや多額の賠償金を獲得

④第3回（前149～前146）…勢力を回復したカルタゴを、ローマの大カトーラが警戒して開戦

→ローマは將軍スキピオを派遣し、カルタゴを攻撃して徹底的に破壊

⑤3回にわたるポエニ戦争はローマの勝利に終わり、ローマは西地中海の制海権を獲得

⑥ポエニ戦争と並行してローマは東地中海へ進出し、（ギリシア）、マケドニアを属州とする

②ポエニ戦争の影響—ローマ社会の変容

①長年の征服戦争への従軍によって農地が荒廃して中小農民が没落し、こうした農民の多くはローマに流入して（無産市民）となる

→（8）は、属州から輸入される安価な穀物で生活し、また市民権を保持していたので、大土地所有者や政治家からの恩恵を享受（これを「（9）パンとサカス」と呼ぶ）=選挙権ともつります!!

②農民が手放した土地や征服戦争で得た土地を集め、戦争捕虜の奴隸を多数投入しておこなう

（10）ラティンティア）（大土地所有制）による農業經營が広がる

→おもに属州の総督となった元老院議員や、属州で徵税請負人となった（11）エクイテス）（騎士）階級がこうした農業經營をおこない、莫大な富を得る

→富を得た人々は（12）ノビレス）（新貴族）と呼ばれる新支配階層を形成し、政権をにぎる

③市民間の貧富差の拡大や從来の市民による軍隊の解体がすすみ、前2世紀後半以降、市民の平等を原則とするローマ共和政の土台が動揺

→元老院を基盤とする（13）財族派）派と、ノビレスを中心とする（14）平民派）派の対立が激化

（15））派との対立が激化

（16））派との対立が激化

（17））派との対立が激化

（18））派との対立が激化

（19））派との対立が激化

（20））派との対立が激化

（21））派との対立が激化

（22））派との対立が激化

（23））派との対立が激化

（24））派との対立が激化

（25））派との対立が激化

（26））派との対立が激化

（27））派との対立が激化

（28））派との対立が激化

（29））派との対立が激化

（30））派との対立が激化

（31））派との対立が激化

（32））派との対立が激化

（33））派との対立が激化

（34））派との対立が激化

（35））派との対立が激化

（36））派との対立が激化

（37））派との対立が激化

（38））派との対立が激化

（39））派との対立が激化

（40））派との対立が激化

（41））派との対立が激化

（42））派との対立が激化

（43））派との対立が激化

（44））派との対立が激化

（45））派との対立が激化

（46））派との対立が激化

（47））派との対立が激化

（48））派との対立が激化

（49））派との対立が激化

（50））派との対立が激化

（51））派との対立が激化

（52））派との対立が激化

（53））派との対立が激化

（54））派との対立が激化

（55））派との対立が激化

（56））派との対立が激化

（57））派との対立が激化

（58））派との対立が激化

（59））派との対立が激化

（60））派との対立が激化

（61））派との対立が激化

（62））派との対立が激化

（63））派との対立が激化

（64））派との対立が激化

（65））派との対立が激化

（66））派との対立が激化

（67））派との対立が激化

（68））派との対立が激化

（69））派との対立が激化

（70））派との対立が激化

（71））派との対立が激化

（72））派との対立が激化

（73））派との対立が激化

（74））派との対立が激化

（75））派との対立が激化

（76））派との対立が激化

（77））派との対立が激化

（78））派との対立が激化

（79））派との対立が激化

（80））派との対立が激化

（81））派との対立が激化

（82））派との対立が激化

（83））派との対立が激化

（84））派との対立が激化

（85））派との対立が激化

（86））派との対立が激化

（87））派との対立が激化

（88））派との対立が激化

（89））派との対立が激化

（90））派との対立が激化

（91））派との対立が激化

（92））派との対立が激化

（93））派との対立が激化

（94））派との対立が激化

（95））派との対立が激化

（96））派との対立が激化

（97））派との対立が激化

（98））派との対立が激化

（99））派との対立が激化

（100））派との対立が激化

（101））派との対立が激化

（102））派との対立が激化

（103））派との対立が激化

（104））派との対立が激化

（105））派との対立が激化

（106））派との対立が激化

（107））派との対立が激化

（108））派との対立が激化

（109））派との対立が激化

（110））派との対立が激化

（111））派との対立が激化

（112））派との対立が激化

（113））派との対立が激化

（114））派との対立が激化

（115））派との対立が激化

（116））派との対立が激化

（117））派との対立が激化

（118））派との対立が激化

（119））派との対立が激化

（120））派との対立が激化

（121））派との対立が激化

（122））派との対立が激化

（123））派との対立が激化

（124））派との対立が激化

（125））派との対立が激化

（126））派との対立が激化

（127））派との対立が激化

（128））派との対立が激化

（129））派との対立が激化

（130））派との対立が激化

（131））派との対立が激化

（132））派との対立が激化

（133））派との対立が激化

（134））派との対立が激化

（135））派との対立が激化

（136））派との対立が激化

（137））派との対立が激化

（138））派との対立が激化

（139））派との対立が激化

（140））派との対立が激化

（141））派との対立が激化

（142））派との対立が激化

（143））派との対立が激化

（144））派との対立が激化

（145））派との対立が激化

（146））派との対立が激化

（147））派との対立が激化

（148））派との対立が激化

（149））派との対立が激化

（150））派との対立が激化

（151））派との対立が激化

（152））派との対立が激化

（153））派との対立が激化

（154））派との対立が激化

（155））派との対立が激化

（156））派との対立が激化

（157））派との対立が激化

（158））派との対立が激化

（159））派との対立が激化

（160））派との対立が激化

（161））派との対立が激化

（162））派との対立が激化

（163））派との対立が激化

（164））派との対立が激化

（165））派との対立が激化

（166））派との対立が激化

（167））派との対立が激化

（168））派との対立が激化

（169））派との対立が激化

（170））派との対立が激化

（171））派との対立が激化

（172））派との対立が激化

（173））派との対立が激化

（174））派との対立が激化

（175））派との対立が激化

（176））派との対立が激化

（177））派との対立が激化

（178））派との対立が激化

&lt;p

「農民＝兵士」を復活させるため、農民に  
土地を奪はうといふのが、グラックス兄弟です。  
でも、この改革は、多くの有力者から反対を  
うけます。彼らの土地を没収するってこと  
でからねえ。

としておれど、「農民＝兵士」はもういい時代。  
兵士はお金持ちが自らで立つるよりはなりました。  
そして、いまひとつおちつねども、「内をいせた」と  
突入。⑥同盟市が立ちあがり王立！（同盟市は）戦争  
に巻きこまれるのに、さばくにはいっさいナシ!! 選挙権  
もナシ!! といつづら立場をうたうのです。よくぞ「今まで  
がマンしていいへども…」。戦争を強いられていた奴隸  
（スタジアム（コロッセオと言います）で、剣奴又同士の争戦）、  
剣奴対りや、ライオンの争戦を見たのが、この時代のエンターテイ

⑨おちつかないやのうで力をつけてきたのが、ポンペイウス、カエサル、クラッスの三人です。この三人を中心いて展開された政治を、第1回三頭政権といいます。3人ともやることは、いつも、仲が良いのはなく、利害が一致していくに従事したので、クラッスが対、ペルティア策などして上級とバランスを取れます。カリブ遠征で成功していい感じのカエサルを讃美してポンペイウスが、元老院とくついてカエサルを倒さります。カエサルもそれに応戦!! 負けハドム漂ひはじめたポンペイウスがエジプトに逃げて、カエサルも追ってエジプトへ。(しかし、ついでカエサルがエジプトに着いたときに)

(checkの答え) ① イラクルヘルス ② スペルタクス ③ カエサル  
④ オクタウ<sup>ウ</sup>ヤヌス ⑤ クレオパト<sup>ウ</sup>ラ

「ワケモト」キニウス=セクスティウス三法の規定をつかいまじこ。

$\frac{\partial \ln t}{\partial x}, z = 0.2$

### 3 ローマ共和政の崩壊——内乱の1世紀

放 p42 の 20 行  $\sim$  p. 44

- ⑧前2世紀後半、兄弟であいついで護民官に就任した(クルッズ)兄弟が、ローマ軍の再建を目的に、大土地所有者の土地を没収して無産市民に分配する改革をこころみる
  - ⑨兄は反対派に暗殺され、改革を引き継いだ弟も自殺に追い込まれて、改革は失敗に終わる

## ②「内乱の1世紀」(前1世紀)の開始

- ④改革の挫折後、ローマの軍隊は有力政治家が無産市民を集めてつくる私兵が担うようになる

前ページのエラー出てますね！ 律儀が悪かって

古代ローマ史 17

→平民派の<sup>(2) リリウス</sup>と閥族派の<sup>(3) スラ</sup>が抗争をくりひろげる

- ⑤混乱を背景にイタリア半島の(同上)がローマ市民権を求めて反乱(前91~前88)をおこす  
→スラが反乱を鎮圧。反乱の結果、半島内の全自由民にローマ市民権が拡大される

⑥剣闘士(剣奴)の(スパルタクス)に率いられた大反乱(前73~前71)が発生するが、富豪で政治家・軍人のクラッススや、スラの後継者のポンペイウスによって鎮圧される

### ③三頭政治と共和政・「内乱の1世紀」の終焉

- ⑧第1回(ミソチ改) (前60～前53)…東方を平定して勢力をのばした(アントニウス)が、元老院に対抗するために、クラッスや平民派の将軍(カエサル)と協力して政権を獲得  
→ (8)は(ガリラ) (現在のフランス)への遠征に成功して勢力をのばし(その記録が『ガリラ戦記』)、一方でクラッスは(ペルティ) の遠征で死去、サンの娘の夫  
→ (8)と、元老院と結んだ(7)とが対立・激突し、前46年に(8)が勝利

暗殺事件

- 前44年に彼は終身の独裁官に就任するが、元老院を無視して王位につこうとしているとのみ  
なされて、共和派の<sup>13</sup>アントニウスやカッシウスらに暗殺される ←この時のカエサルのセリフが  
④第2回三頭政治(前43)…再開された元老院中心の政治に対抗して、カエサルの部下の<sup>14</sup>アントニウス、オクタヴィウス、アレキサンダー・セントス  
アントニウスやレピドゥス、カエサルの養子の<sup>15</sup>オクタヴィアヌスらが結成  
→政権獲得後、(15)と(14)・レピドゥスとのあいだで対立がおこり、レピドゥスは失  
脚し、(14)はブトレマイオス朝エジプトの<sup>16</sup>クレオパトラと結ぶ  
④前31年、オクタヴィアヌスとアントニウス・クレオパトラ連合軍が<sup>17</sup>アクトイの海  
戦で激突し、オクタヴィアヌスが勝利(「内乱の1世紀」の終了)  
④前30年 ローマがブトレマイオス朝を滅ぼし、約300年の<sup>18</sup>ペリポリ時代が終了

おひいき  
カラサルの後をつづけ  
自立して歩く

check

- ① 前2C後半、ローランの自作農再建のため改革をすすめた兄弟をTさんといいか  
② 前1C前半における、食糧収の反乱と率いた人物は誰か、  
③ 第1回三頭政治のメンバーで、最後まで残った不確かを千屋さんのは誰  
④ 第2回三頭政治のメンバーで、カエサルの養子となったのは誰か。  
⑤ 第2回三頭政治のメンバーで、アントニウスと結婚して、エジプト女王

今日はここまで！

次回は、オクタヴィアヌスが元老院の  
おじマキシミルを感服させます！

—T2h2'かT2? おT=oしちT=—!!

暑い日が工場でございました

アイスがおいしいです。

→ いや、マイスは年中おいしいです。  
→ うーん、うまい。

久須感が増してまいりました。

か。 既へりまじ又を付けよ可!!

